広報たかもり

発行　阿蘇郡高森町役場　TEL（高森局09676）②1111〔代表〕

人口

――12月31日現在――

9,521人	男…4,642人　女…4,879人
世帯数	2,592
転入 72	出生 14
転出 21	死亡 6

2月

南阿蘇写真展から

冬の高森峠

暦の上では春が告げられましたが、南阿蘇はまだまだ厳しい寒さが続いています。

雪の晴れ間の高森峠からながめる阿蘇五岳は一面の銀世界。根子岳の異様な〝おうとつ〟も日光にキラキラ輝き、オトギの国に来たような錯角にとらわれます。

〈高森写友会〉

〝南阿蘇はひとつ〟

〈阿蘇南部広報紙統一キャンペーン〉

おもな内容

□ 町財政の決算報告…………(2)～(4)
□ 町営住宅の入居者を公募…………(5)
□ 確定申告始まる（55年分）…………(6)
□ 晴着姿も華やかに…………(7)
□ 新春恒例の消防出初め式…………(8)
□ もう一つの視点（変わりゆく農村の意識）…(9)
□ お知らせのページ…………(10)

日曜在宅医

日	医院	電話
2月3日	渡辺医院	南阿⑦1777
2月10日	藤本医院	南阿⑦0020
2月11日	後藤医院	南阿⑦0019
2月17日	上村医院	阿蘇⑤0336
2月24日	小林医院	高森②0075

診療は午前9時から午後5時まで

町民文芸

肥後狂句

お先に失礼、ゆっくり出世してはいよ　浦塚　南天
なんやかんや、嫁どん昼の長かろう　岩下　哀草
節約して、夢は我が家の青写真　林田　一声
節約して、自家発電でぬくめおる　二子石探訪
なんやかんや、火の無ア煙り巻きあぐる　林　不忘
お先に失礼、ロングパットの又決まり　馬原　馬笑
節約して、目刺し乗せとる祝い膳　岡本　琴司
節約して、達磨にゃとうと目の入らん　田上黙公子

俳句

初明り来る足音や郵便夫　野尻　誓道
安らぎを牛飼ふ事に老の春　野尻さだむ
縫ひ初めの糸を通すは孫の役　草村あつ代
せがまれてカルタ読む夫居蘇機嫌　長友たつ子
冬木立満艦飾の雪の花　野尻いくよ
萱屋根の千木も乱れて留守寒し　瀬井せん女
沢蟹の潜める谷や寒の水　野尻　里女
雪折の竹のはしりて降り続く　甲斐　菊江
崩野路は句に通ふ道雪深し　恵良あや女
白髪をいさぎよしとて初鏡　熊谷起代女
神仏にあずけし命喜寿の春　草村　鶴代
刻々と視界は変る雪の景　熊谷　紫雲
初鴉一声もなく過ぎ行けり　馬原その女
みどり児に初乳与へし初電話　熊谷　つ子
雑煮餅のどにかけるなと子の電話　瀬井てる女
根雪まだ解けぬままなり又雪に　野尻　信之
雪解の土手漁りゐし小鳥来て　原田　健正
啄木鳥の叩く音のみ深雪晴　馬原　岳人

雑詠

上色見　後藤　嘉平

新玉の初日の光あきらかに
　栄ゆる御代ぞありがたき哉

ながらへて齢九十を越えにけり
　世の荒波に浮きつ沈みつ

ご寄付

◎町社会福祉協議会へ

▽高森上在の三森義高さんから（父、重数さん・70歳死去）
▽上色見前原の荒牧重盛さんから（母、ミサエさん・71歳死去）
▽河原の森忠二さんから（養母、フミさん・76歳死去）
▽高森旭通りの赤峯力夫さんから（父、又雄さん・67歳死去）
▽高森旭通りの谷川登さんから（妻、ヒサヨさん・67歳死去）
▽高森村山の本田雄二郎さんから病気の見舞返礼として金一封
▽芹口の佐藤三博さんから病気見舞の返礼として金一封

◎その他の寄付

▽草部の小崎マシエさんから草部福寿会へ金一封（病気見舞返礼）
▽村山の三森勇吉さんと桐原朝雪さんから香典返しとして村山老人クラブへ金一封
▽旭通りの赤峯力さんと谷川登さんから香典返しとして旭通り老人クラブへ金一封
▽旭通りの矢野春藤さんから草部北部中へ金一封

おめでたおくやみ

出生　S54.12.16～55.1.15受付

(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(出生月日)
旭通	松村　廣美	美紀	女	S54.12.10
天神	佐藤洋一郎	洋	男	12,22
下町	山邊　寛美	由美	女	12.24
前原	荒牧　徳男	愛	女	12.25
大村	勝木　富昭	雄師	男	12.26
下町	長野　了一	真実	女	12.4
旭通	福嶋　浩一	ゆきか	女	12.29
昭和	大塚　孝勇	雅恵	女	S55.1.4
芹口	佐藤　惟典	公章	男	S54.12.16
草部	児玉　吉廣	三好	男	12.17
草部	黒木　豊	健二	男	12.28
尾下	藤本　厚夫	茂樹	男	12.7
津留	野尻　善人	鮎子	女	12.10
尾下	西森　忠夫	章	男	12.6
津留	田崎　研一	真弥	女	12.18

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
前原	荒牧　重盛	母	荒牧ミサエ	71	S54.12.18
上在	三森　ミエ	夫	三森　重数	70	12.19
村山	後藤　繁	弟	後藤　一二	45	55.1.1
村山	桐原　朝雪	妻	桐原アサエ	59	1.7
旭通	赤峯　力夫	父	赤峯　又雄	67	1.9
旭通	谷川　登	妻	谷川ヒサヨ	67	1.14
草部	田上　誠記	養父	田上　毎重	88	1.10
芹口	川部　七生	父	川部　義盛	75	1.13
河原	森　忠二	養母	森　フミ	76	54.12.29

結婚

	(氏名)	(住所)	(婚姻届年月日)
夫	相馬　繁喜	高森　冬野	S54.12.27
妻	（三国）明子	熊本市	
夫	村上　源喜	色見　小倉原	12.28
妻	（有働）幸子	高森　横町	

53年度 町財政の決算報告

予算と決算は、町づくりを進めていく上で欠くことのできない重要なものです。なかでも決算は、予算が会計年度の収支を見積った計算であるのに比べて決算は一年間という長いコースを走ってきた町づくりの記録でもあります。

そこで今回は、五十三年度決算について、①みなさんが納めた税金はいくらか②その税金はどう使われたか、そのあらましをお知らせします。なお、この決算報告は、さきの十二月定例町議会に提出され、承認を受けました。

歳入 歳入では前年比10・7%の伸び

五十三年度の一般会計の決算額は、歳入十八億五千二百七十三万円、歳出十七億九千八百八十一万四千円で差し引き五千三百九十一万五千円が、翌年度に繰り越される財源となりました。しかし、このなかには五十三年度の未完了の事業費六百八万七千円と、不慮の災害や将来のための積立金（財政調整基金）二千二百万円が含まれていますので、これらを差し引いた二千五百八十二万八千円が五十四年度へ繰り越されました。

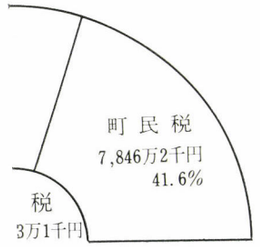
それでは、町の収入（歳入）の内訳を見てみましょう。

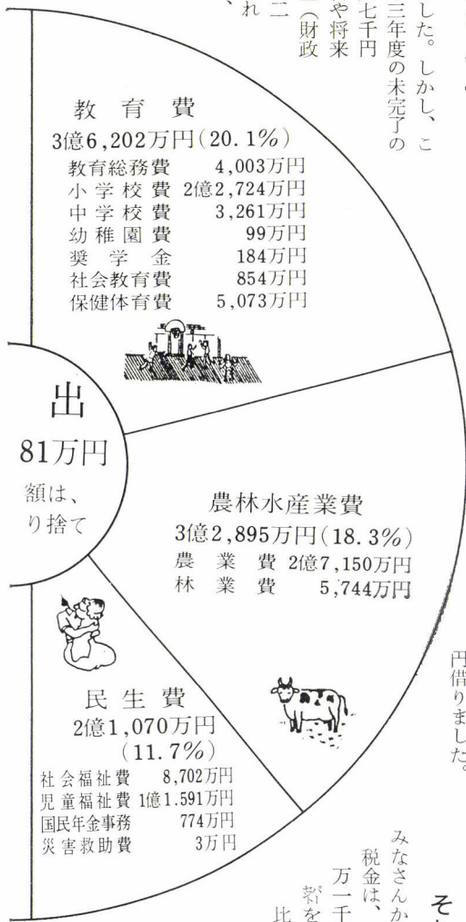
町収入の三九%を占める地方交付税は、国が国税の一定割合を、町の財政事情によって配分するものです。

また、国庫支出金・県支出金は町が事業を行う場合に、国や県が負担金や補助金の名目で事業費の一部を助成するもので、双方で全体の二二・六%（四億一千八百六十三万四千円）を占めています。

地方債は、事業の財源にあてるための町の借金で、五十三年度は二億四千九百六十万円借りました。

なお地方債の累計は、五十三年度末現在で約十八億五千二百六十九万五千円になりました。





伸びた町税 それでも10%弱

みなさんから納めていただいた税金は、一億八千八百六十三万一千円で全体の一〇・二%を占めており、前年度比一一・二%の増となっています。これは物価上昇に伴う給与所得の伸び（町民税）、家屋の新増築が増えたこと（固定資産税）などがおもな原因

特別会計決算

☆国民健康保険
- 歳入　4億6.870万7千円
- 歳出　4億5,450万1千円

☆簡易水道
- 歳入　3億2.718万4千円
- 歳出　2億3,510万7千円

☆住宅新築資金等貸付金
- 歳入　910万7千円
- 歳出　904万5千円

税の作文コンクール入選作品から

みんなの広場

税金とくらし

高森中三年　後藤忠治

毎日、一生懸命働いている母があると、仕事が終わると夜遅く家計簿をつけていた。そして毎月、月末になるといつものように「また今月も収入の割りに、出費が多すぎて赤字だ。そのうえ高い税金を納めなくてはならないなんて」――と口癖のように言っている。父も同じように「税金が安ければ、あんがい生活もやりやすいのに」と言う。いったい、そのような高い税金がどんなふうに使われているのだろうか。

ぼくは小学生のころまでは、高い税金がだれかに取られていくような気がしてたまらなかったが、中学生になって、税金には収得税や、消費税、財産税などいろいろな種類があり、家庭によって税額が違い、税金を納めるのは「国民の義務」であることがわかった。

そして、毎日汗水たらしながら一生懸命に働いている納税者のおかげで、りっぱな環境や学校、道路など、いろいろな施設や設備が整い、また快適で住よいくらしや生活ができるように、美しい市や町、村づくりに役立っていることもわかった。

しかし、「平和な世の中」と、「文化的生活」を行なっていくには、国がもう少し考えて、責任を持って、国家の力でやるべきだと思う。

ぼくの家では、父と母の収入でくらしています。そして月々少しずつではあるが、税金を納めている。だからたくさんの国民が税金を納めれば、「私たちの生活や、くらしに役立ち、活躍していく何かができるのだ」と思う。

父や母は、「赤字＝税金」だと思っているかも知れないが、ぼくは「生活＝税金」だと思う。民主々義の世の中であれば、国民の社会の平和と、文化的生活を行っていくためには、納税者一人一人が高い税金ではあるが、納めることをいやがってはいけないと思う。

また国も、税金のごまかしや、ムダ使いなど、いろいろな悪いことがあれば、納税者が苦労して納めた税金だから、国や国民が眼を見張って、きびしく調べなくてはならないと思う。また私たち国民も「税金」についてのありがたさなどについて、もう少し理解すべきだと思う。

だから国民の一人一人が、一円でも十円でも多くの税金を喜んで安心して払えるようになることを望みたいです。

ぼくも成人になり、収入を得るようになったら、一円でも多くの税金を国のためだと思って払えるようになりたいと思います。

〝笑顔〟が私のアイドル

高森上町　工藤小百合ちゃん

私、サユリちゃんで―す。これ〝満二歳の記念に〟と、よそのオジさんが無理に撮ってくれた写真なの。生まれたときは二千六百㌘と、小さかったけど、なぜかパパに似て、いまは肥え過ぎ。でも、ママとスーパーへ買い物に行くと、みんな「テンプルちゃん」の愛称で、かわいがってくれるわ。

それにパパも、三人娘の中では私だけを特別扱い。いっしょに風呂に入れてもらえるし、パーマもかけてくれましゅ。だから、たとえチョコレートを買ってもらえなくても、お下りの着物を着せられても、笑顔だけは絶やさないように努力しているので―す。

工藤昭夫さんの三女。

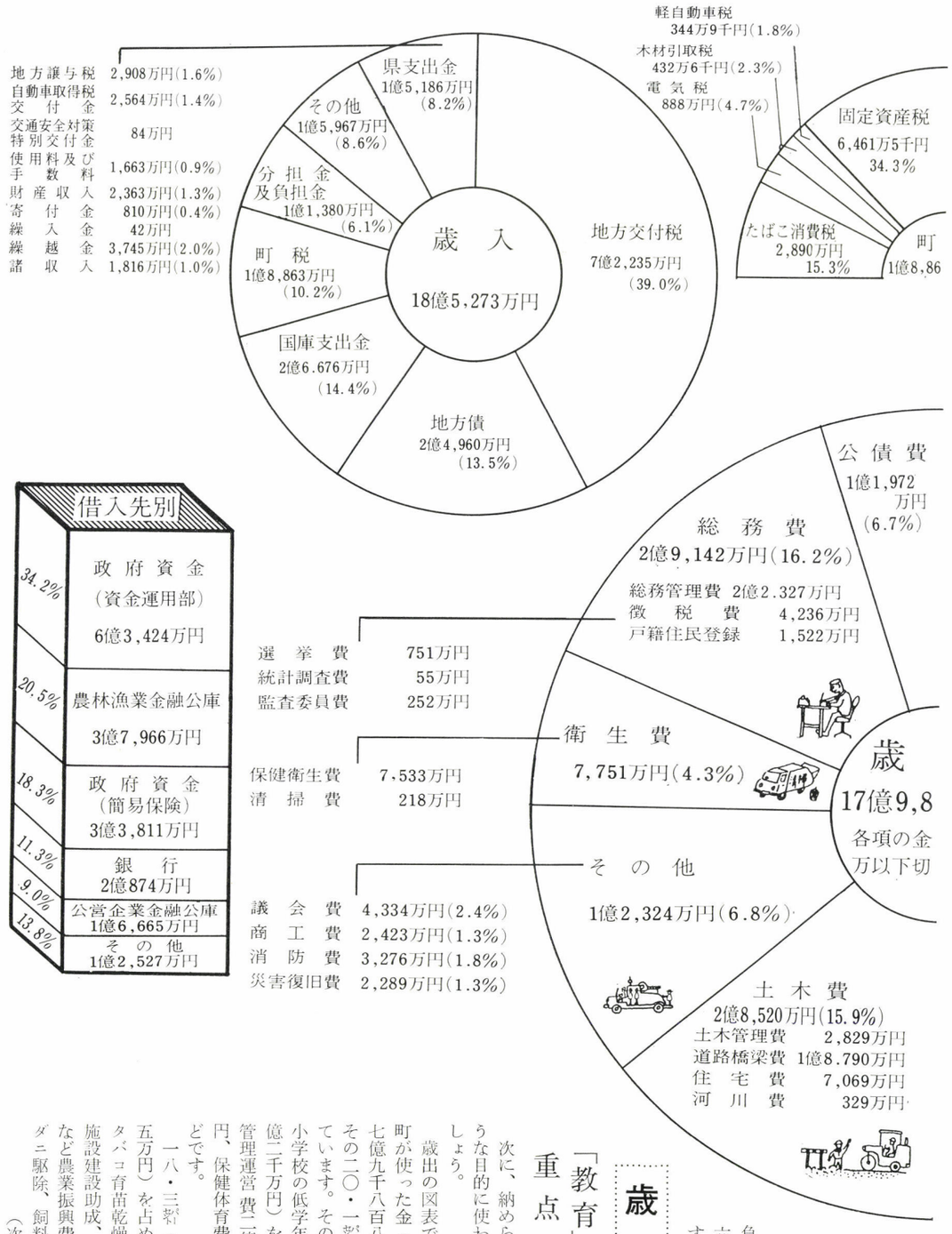
チクリ ひとこと

ゴミの選別守ろう

ゴミ収集日には、各家庭から山のようなゴミが袋に詰め込まれて出されます。紙クズなどの燃える物は跡形もなく処理できるでしょうが、水分をたっぷり含んだ残飯のほか、みかんの皮、アサリのガラなども可燃物として混ぜられて集められます。これでは燃える物まで処理を困難にしてはいないのかと、心配です。

また私はある機会に、町のゴミ処理場を見せていただきましたが、こんなにもたくさんのゴミが集められるのかと驚いてしまいました。特に感じたことですが、あの真赤に燃える焼却炉の中にたくさんの空カンが入っていたことです。たぶん可燃ゴミの中に出してしまったのでしょうが、必ず別々に定められた日に出すようにすべきだと思います。

〈一住民〉



歳出

「教育」「農林」重点に執行

次に、納められた税金がどのような目的に使われたかを見てみましょう。

歳出の図表でもわかるように、町が使った金（歳出）の総額は十七億九千八百八十一万円ですが、その二〇・一㌫が教育費に使われています。そのおもなものは高森小学校の低学年棟建設事業（約二億二千万円）を含む小・中学校の管理運営費二億三千五百万一千円、保健体育費五千七十三万円などです。

一八・三㌫（三億二千八百九十五万円）を占める農林水産業費はタバコ育苗乾燥施設や野菜集出荷施設建設助成、米の生産調整事業など農業振興費二千百五十万円、ダニ駆除、飼料作物生産振興対策

（次ページへつづく）

です。

また町税総額を人口（五十三年三月末現在）で除した町民一人当たりの税負担額は、一万九千六百十八円になります。

お知らせのページ

林業改善資金制度のご利用を

高森町森林組合では、林業改善資金制度によるチェンソーや刈払機などの購入斡旋を行っています。

この制度をご利用になるとチェンソーは十八万円まで、また刈払機は六万円までの融資が受けられます。無利息で据置期間二年、償還期限は三年です。くわしくは森林組合へおたずねください。

働きながら学ぶ県立江津高校

江津湖に近い閑静な地に昨年四月から定時制・通信制の独立校、県立江津高校が開校されましたが、次の要領で生徒募集を行っています。

△定時制▽募集学科は普通科、商業科、衛生看護科です。四年間毎夜四時間程度の授業を受け、高卒の資格が与えられます。受付期間は二月七日から十四日まで。

△通信制▽毎日通学できない人のために開いた課程で普通科のみ。特に入学試験や定員はありません。▽年に二十回ほど日曜または月曜日に登校しての授業と、年間各教科約十回のレポートが課せられます。試験は年三回、在学期間は四年以上▽授業料年額千百円、生徒会費など年額四～五千円、その他年額二千円程度▽受付期間は二月二十日から三月二十五日。

詳細は熊本市出水四丁目三五〇（☎72・5311）へ。

中小企業者の役に立つ制度

中小企業倒産防止共済

中小企業倒産防止共済制度は連鎖倒産を防止するため、中小企業者の方々があらかじめ掛金を積み立てて、相互に救済（共済金の貸付け）する国でつくられた制度です。加入後、六ヵ月以上経過して、万一取引き先が倒産し、売掛金債権等の回収が困難となった場合、共済金の貸付けが受けられます。

ただいま中小企業共済事業団では、通産省中小企業庁と共催で、この制度の全国加入促進強調月間運動を実施中です。ぜひこの機会に制度へのご加入をおすすめします。制度の特色は――

○掛金総額の十倍以内を貸付け　加入者は、積立てた掛金総額の十倍の範囲内で被害額相当の共済金の貸付けが受けられます。

○無利子、無担保、無保証人　共済金の貸付けは、無利子、無担保、無保証人で受けられます。

○税法上の特典　掛金は、法人の場合には損金、個人の場合には必要経費扱いになります。

この制度のくわしいことは高森町商工会、または県庁商工担当課へお問い合わせください。

木材共販市況

高森町森林組合

「1月14日」

スギ 長さ	径級	安値	高値	中値
4m	13下	25,000円	33,000円	29,000円
	14上	37,000円	42,000円	39,000円
	30上	43,000円	46,000円	44,500円
3m	12下	23,000円	28,000円	25,000円
	13上	29,000円	37,500円	34,500円
	30上	43,000円	64,000円	54,000円
2m	14下	12,000円	15,000円	13,500円
	16上	13,000円	23,000円	20,000円
6m	13上		42,000円	
	30上		45,000円	
ヒノキ 4m	14上	51,000円	59,000円	55,000円
	20上	63,000円	79,000円	73,000円
3m	30上	78,000円	100,000円	85,000円

飽田町で町章の図案を公募

飽託郡の飽田町では、合併二十五周年を記念し「あすの飽田町」建設を力強く進める町民の意欲を示すような、明るく新鮮な町章の図案を公募しています。

◇応募資格　県内に居住する人

◇締め切り　四月三十日（当日消印のあるものまで有効）

◇送り先　〒861―52　飽託郡飽田町浜口一〇四　飽田町役場企画課宛

◇内容　飽田町を象徴し、町民に親しまれる明るく斬新なデザインで、町旗のほか記章や胸章などにも利用できるもの。

◇応募方法　①応募作品は未発表のもので、他の作品とまぎらわしくないもの②採色は一色（黒）とし、一枚一点とする③図案は官製ハガキの裏面上部に直径約八十㍉の面積に書き、下部余白に図案の表現している内容の簡単な説明と応募者の年齢職業（勤務先・電話）を付記すること。

◇発表　七月上旬

◇賞金　特選一点十万円、入選四点各二万円。

農業者大学校募集要項決る

農林水産省農業者大学校（東京）の募集要項をお知らせします。

▽**五十五年度生**＝一年の営農経験後、五十五年四月入学予定

▽**五十六年度生**＝五十五年三月高等学校卒業見込みの人で、一年の営農実務経験後、五十六年四月入学予定

▽**募集期間**　五十五年一月四日から二月十五日まで

▽**県選考日**　五十五年二月二十日

▽**本選考日**　同三月十三・十四日

▽**選考科目**　①筆記試験（現代国語、数学Ⅰ、物理Ⅰ）②面接試験

※詳しいお問い合わせは役場経済課、もしくは農業大学校（東京都多摩市連光寺二―〇七）へ

県が冬季労働大学講座ひらく

県では、県下の労働者、経営者と県民を対象に冬季労働大学講座を、二月十九、二十日の両日、県庁地下大会議室で開講します。

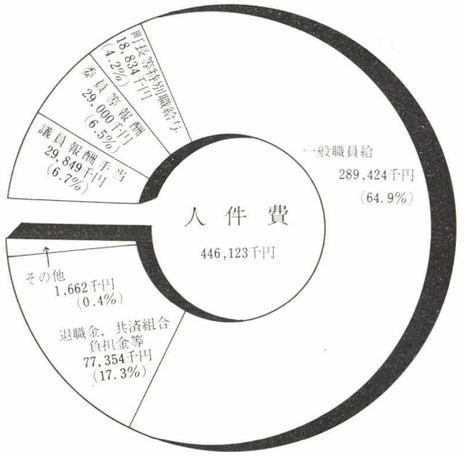
受講を希望される方は、役場商工観光課へ二月十三日までに申し出てください。

（前ページからつづく）

など畜産関係に千八百万円、農道整備一億四千万円、林業センター建設四千五百万円などが含まれます。

総務費（二億九千百四十二万円）は全体の一六㌫で、そのおもなものは、駐在員報酬や職員の給料など事務的な経費ですが、草部中学校グラウンド拡張用地や高森警察署草部駐在所用地の公有財産購入、交通安全対策、戸籍住民登録に要する経費なども含まれています。

民生費（二億千七十万円）は、老人医療など老人福祉費として六千百二十七万円、保育所の管理運営費七千百三十万円、国民年金事務取扱費七百七十四万などですが、



なかでも老人福祉費は前年に比べて一八・七㌫も増えており、老齢化が続く本町では、この傾向がますます続くものと考えられます。

土木費（二億八千五百二十万円）は、町道などの整備を図る道路橋りょう費一億八千七百九十万円、土木管理費二千八百二十九万円、公営住宅十二戸の建設など住宅費七千六十九万円、河川費三十二万九千円で、前年度より一〇・五㌫の伸びとなっています。

公債費は、歳入の項で述べた地方債（町の借金）を返済するもので約一億二千万円になりました。

財政ひっ迫で公債費増える

次に、どのような性質の経費として使われたか「性質別歳出の状況をみてみましょう。

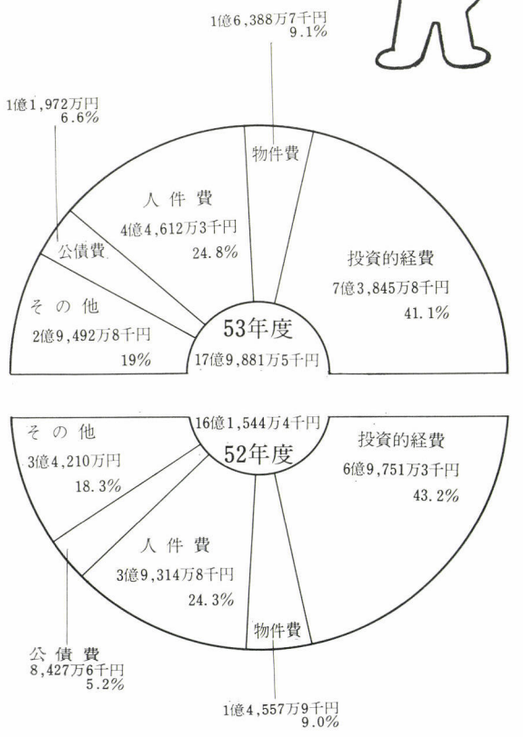
投資的経費は、町が道路、住宅、学校建設などの事業に使った金ですが、これは全体の四一・一㌫。前年度より比率がやや落ち込んでいるのは、継続して行われていた災害復旧が、前年度で終ったためです。

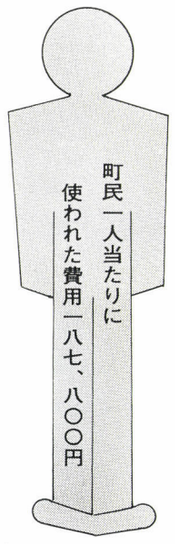
人件費は、全体の二四・八㌫を占めていますが、このうち職員給は二億八千九百四十二万四千円（全体の一六㌫）です。

六・六㌫（一億一千九百七十二万円）を占める公債費は、前年より大幅に伸びています。これは景気後退に伴い、国が地方交付税の減少見返えりとして、多額の地方債を発行したためで、自主財源に乏しい町が事業を行う場合は、必然的に、この地方債にたよらざるを得ない状況です。今後さらに財政のひっ迫が続けば、この公債費は、ますます増えることになります。

町民一人当りの納める税金　一九、六一八円

性質別歳出の状況





町民一人当たりの費用約19万円

以上のようなことから、町民一人当たりに使われた費用を計算すると十八万七千八百円になり、みなさんが納められた税金（一人当たり）一万九千六百十八円の約十倍になります。

そうその視点 >11<

本田研一

へんぴな農村でも、今はだれもが近代的な都市生活を営みたいと望むようになっている。そのような住民意識を育てたのは、テレビをはじめとするマスコミの発達と普及であり、道路・交通網の発達による社会的交流の活発化である。

かつて、封鎖的な生活様式を構成し、その生活環境の比較も昔との比較にとどまっていたが今ではあらゆる地域社会との比較が容易になってきている。

したがって、便利で文化的な都市生活とくらべた場合、これまでの不満に加え、とくに意識しなかったものまでが目立ってくる。道路、救急医療、教育施設等々―。長期にわたって、これらが解消されそうもないと予想されるときには、人々の心はより高い生活環境を求めて離村することになる。

本来、農村においては、都市的消費生活へのあこがれと、地域内での生活格差、それに鋭敏な農村社会の習癖があいまって、激しい商品経済の渦中に巻き込まれる。何が必要かを考える前に、新しい時代にとり残されまいとする意識が働く。支出は増大し、所得をいま以上に獲得する必要が生じる。

場合によっては、この支出を農産物だけでまかなえず、それらが離農、離村を促す一因ともなってきた。

農村経済における現金取引きの浸透と賃金収益の増高は、「村」としての相互依存や生活秩序、個性ある伝統的行事などの維持を困難にさせ、かつての共同体的な、自治機能を衰退させてきている。その過程において、「村」には因習と人間関係の煩わしさばかりが目立つようになり、それは人々の心を農村から離反させてしまう。

自治機能が衰退　共同体的な

しかし、村の〝古さ〟ないしは因習として一括されるもののうちに、かつては人々を村にとどめおく、何かがあったわけである。村の相互扶助、村の行事、村の冠婚葬祭、そのほか個性ある村の伝統的文化等々――しかし、それは主として、日本の国家としてのまとまり、国民文化のまとまり、国家体制の整備などが進み、他方で現金を尺度とした農村経済が展開されていくなかで失われていった。あらゆる村のまとまり、村の尺度は批判の的か懐疑の対象となって、村の機能は衰弱して、人々に不合理な因習とか、煩わしい人間関係と意識されるものだけが残っていた。このような村の衰弱は、長いあゆみの中で生じてきたものであり、もはやこのあゆみに抗して過去の古きよき時代を追うことは困難であろう。

しかし、村には都市が新な形成を求めて苦闘しているコミュニティ的な人々の連帯の基礎がある。伝統的な集落共同体の連帯を生かしつつ、これを改善し、近代化していく可能性が見い出せるかどうかが、村の今後を占うものである。

変わりゆく農村の意識

できた!! ゲートボール練習場

あけぼの老人会・あさひ老人会

地域住民が善意の協力

ゲートボールを楽しむお年寄りたちが増えている本町で、練習場不足はこれらお年寄りたちの大きな悩みでしたが、このほど土地を開放した人や造成を手伝った人たちの善意の協力で、りっぱな練習場を造った地区が二つあり、お年寄りたちを大喜びさせています。

念願の練習場ができたのは、大字津留二区の「あけぼの老人会」（赤星牛熊会長、五十人）と高森旭通りの「あさひ老人会」（野依謙一会長、五十三人）両地区とも近年お年寄りたちのゲートボール熱が急激に高まりましたが、練習場がなく悩みの種となっていました。

津留二区の「あけぼの老人会」は、ゲートボールを楽しむために

新しいゲートボール場で練習するあさひ老人会

は二～四㌔離れた永野集会所か、林業センターまで出かけなくてはならない状態。そこでこれを知った同地区山付の瀬井雅弘さん（六四）が上津留の土地を開放したもので、地域ではゲートボールだけでなく、ママさんバレーや子供の遊び場としても利用させてもらえるとあって地区民総出の作業となりました。

一方、「あさひ老人会」の練習場は、たまたま同地区の沼田寛さん（六四）が高森電報電話局に駐車場として貸していた土地が返還されたため、ゲートボール場として無償で貸与、同地区の興梠建設も造成を手伝い、みごとなコートが完成しました。

小雪舞うなか、勇壮に

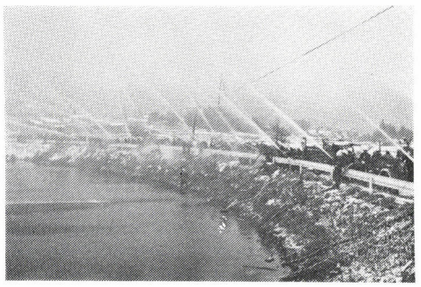
新春恒例の消防出初め式

高森中少年消防隊も初参加

災害のない町をめざし、防災の輪を広げよう――。新春恒例の高森町消防団の出ぞめ式は、一月十七日、高森中グラウンドに、宇藤明消防団長以下十一分団二十二部台、それに高森中学校少年消防隊（今村大心隊長、五十七人）も元気に参加して行われました。

ことしも例年同様、寒風に小雪の舞う悪天候でしたが、各分団ともそろいのハッピや制服姿もりりしく、日ごろ身につけたみごとな号令、規律で岩下町長から通常点検を受けました。

高森中少年消防隊を点検する岩下町長



本町消防団の一斉放水

なかでも、ことし初の三百八十四人と消防車四台、ポンプ積載車八台、小型ポンプ十一台、それに高森中学校少年消防隊（今村大心隊長、五十七人）も元気に参加して行われました。

ことしも例年同様、寒風に小雪の舞う悪天候でした。

このあと、塚本副団長の指揮で分列式に移り、行進曲に合わせて駅通り―中央四ツ角―別所の堤へと街頭行進。別所の堤では岩下消防本部長の合図で、一斉に放水開始。扇形に並んだポンプの前に、みるみる間に水のカーテンが描き出されました。

引き続き、会場を高森小グラウンドに移して町長式辞、団長訓示などが行われたあと、次のような表彰が行われました。

❶第三分団（草北）❷第八分団（野尻）❸第六分団（南在）

〔退職消防団員表彰〕▽在職二十五年以上＝熊谷和文、田上省吾、野尻秀雄、甲斐智、栗焼長命、吉良山盛雄、後藤昭敏▽在職十五年以上＝後藤仁ほか十一人。

〔県消防協会長表彰〕▽功績章（二十年）安藤進英、田上勝▽勤績章（十五年）三森義高ほか十人。

〔一般表彰〕▽消防施設の用地無償提供者＝村嶋泰尚、矢津田深、井上健三、那須哲憲、津留国雄、高倉来、瀬井二男、下田市蔵、岩下光則、井上義春、二子石明、佐野広、田上安盛、佐伯哲男、熊谷康、瀬井顕義、戸高チエ、藤本ケサミ。

〔通常点検〕

中学校少年消防隊は元気いっぱい。結成間もない短い訓練にもかかわらず、きびきびした動作で点検を受け、来賓者を感心させました。

よろしく

本町の消防団長になられた

宇藤　明さん

山村前団長の後任として、昨年十二月一日付で団長に任ぜられましたが、身の引き締まる思いです。

本町消防団の総数は現在約五百人。装備も新鋭の消防車、ポンプ付積載車、小型動力ポンプなどが導入され、機動力がますます強化されています。

昨年、本町では林野火災八件、家屋火災一件が発生しましたが、いずれも団員の迅速果敢な活動と地域のみなさんのご協力で、被害を最少限に食い止めることができました。今後もさらに、みなさんの期待と信頼に応え、機械装備の整備点検や規律訓練に徹し、有事即応の態勢を確立したいと思います。

いま本町の防火面の重要な課題は、なんといっても水利の確保です。これまでそれぞれの地域で防火水槽の建設、増設が行われてきましたが、さらに万一に備え、これらの整備に格段のご協力をお願いしたいと思います。

◇うとう・あきら　高森町大字色見一八九七　六十二歳

完成間近かの町営住宅

2月12日から入居希望者を公募

上在の須坂地区に建設している町営住宅の五十四年度工事は、三月いっぱいで完成の見込みとなったため、町では二月十二日から入居希望者の公募を始めます。

今回募集する住宅は第一種四戸、第二種四戸の計八戸で、いずれも簡易耐火二階建て。

入居資格は❶本町に住所、または勤務地をもち公祖公課を完納している人❷現に同居、または同居しようとする親族がある人に困っている人❸入居者およびその同居者（親族に限る）の過去一年間における公営住宅の基準収入（月額）が、第一種住宅＝五万千円以上、九万五千円以下、第二種住宅＝五万五千円以上、十万千円以下であること。

募集の締切りは、二月二十八日で、毎日午前八時半から午後五時まで（土曜日は正午まで）建設課建築係で受け付けます。

入居者の選考は入居審査会で、申し込み事項の審査を行い、該当者が多いときは、公開抽せんで種別ごとの入居予定者および補欠者を選びます。

なお、家賃は月額第一種二万円、第二種一万六千四百円程度になる見込みです。また一月末日までに住宅入居申込書を出されている人も、再度手続きをしてください。

当初の目標額を突破

共同募金　恵まれぬ人へ善意

高森町社会福祉協議会では、例年にならい、昨年十月から年末まで共同募金と歳末助け合い運動を展開しましたところ、みなさんから温いご援助をいただきました。厚くお礼申し上げます。

共同募金は目標額八十万七百円に対し、百二万五千三百七十一円と、目標額を二八・一㌫上回る実績をあげることができました。

町社会福祉協議会では、この共同募金の還元金と、五十四年中に寄せられました香典返しなどの寄付金とを合わせ、町内の恵まれない人たちや長期療養者、施設入所者などに毛布や見舞金を贈りました。共同募金の寄付者と歳末助け合いの実績は次の通りです。

〔共同募金寄付者〕敬称略

▼法人　たばこ耕作組合、草村工業、高森製材事業協同組合、住吉林業、渡辺木工企業組合、高森石油、シルクソーイング、高森農協、高森縫製、高森タクシー、岩建設、松田興業、スーパーみついし、高森ガス販売、大塚商店、野脇商店、吉田屋呉服店、塚本商店、豊前屋本店、山村酒造、豊後屋商店、石原下製材所、高森ストーク、高森ガ日向屋、南阿蘇畜協、▼個人　渡辺昭光、住吉加恵子、住吉国男、荒牧錦、後藤幸子、岩下励、高倉一人、高倉積、白石伏男、村上照明、岩下代美子、宇藤千年、佐伯阿蘇二、楢木野幸男、本田寿幸、本田耕亮、楢木野徳繁、後藤畝士、後藤末士、吉良山盛雄、白石節子、後藤守重、森正六、後藤健夫、鶴林豊成、森助郎、小林常雄、山村英男、宇藤幸喜、中川清澄、後藤幸充、相馬増己、吉井正則、馬原守雄、福永梅喜、堀睦夫、馬原敬二、本田勝信、東秀也、平田美稔、永井れい子、津留今朝寿、本田三学、本田春江、岡本伝、阿南元光、甲斐一誠、本田嘉達、伊藤公博、伊藤幸子、安藤良一、池田文夫、二子石一蔵、佐藤ケイ子、二子石澄子、二子石二ツ子、二子石芳馬、甲斐恵美、古沢豊喜、野尻定義、後藤本安、野尻捨喜、成田博満、原田健正、瀬井宗春、阿南信彦、佐藤敏夫、草村伸夫、熊谷績雄、熊谷康、熊谷宗人、熊谷浩、岩下八束、山室ツユ、今村俊男、三井アキエ、池田富平、岩下ヤスエ、瀬井文男、後藤深。▼その他　役場草部出身職員一同、草北中生徒会、上色見小児童会、含蔵禅寺子供会、西蓮寺勉強会。

〔助け合い実績〕▼町内寝たきり老人見舞金十一万一千円▼町内重度障害者見舞金十四万一千円▼長期入院入所者見舞金三十七万五千円▼町内低所得世帯見舞品二十四万円。

共同募金地区別実績

（単位：円）

地区名	目標額	実績額
高森	375,550	451,480
色見	44,400	56,496
上色見	41,500	53,900
野尻南部	87,900	105,570
野尻北部	39,700	51,500
草部南部	107,900	119,900
草部北部	38,750	51,200
バッチ募金	65,000	65,000
街頭募金	0	13,754
歳末助合い		56,571
合計	800,700	1,025,371

55年分所得税 確定申告始まる

臨時窓口を開きます

町内7会場 納税相談にご利用を

五十四年分の所得税の確定申告と納税が二月十六日から始まります。期限は三月十五日まで。このため町では、ことしも町内七カ所で臨時の窓口を開設して納税相談を受けることにしています。申告書の書き方などわからないことも会場でお気軽におたずねください。

所得税は個人が一年間に得た所得に応じてかかる税金です。所得税の確定申告をしなければならない人は❶事業をしている人や不動産収入のある人、土地を売った人などで、五十三年中の所得の合計額が配偶者控除や扶養控除などの所得控除の合計額より多い人❷サラリーマンで、給与の年収が一千万円を超えるなどです。

また確定申告をしなくてもよいサラリーマンでも、雑損控除や医療費控除、住宅取得控除などが受けられる人は、確定申告をして税金の還付を受けることができます。

この還付を受けるための申告は二月十六日前でも受け付けています。申告書を書くときは「申告書の書き方」や「所得税の確定申告の手引き」を参考にして、申告書の二面から番号順に記入していくと、所得や税額の計算が簡単にできます。会場には確定申告をするために申告書の用紙や書き方などで、わからない点がありましたらお気軽に係員にお尋ねください。

なお、納税相談の日程は表の通りで、時間は午前九時から午後三時までとなっています。

節税と経営合理化に青色申告を

所得税の申告に、「青色申告」という制度があるのをご存じでしょうか。事業所得、不動産所得又は山林所得のある方が、毎日の取引を帳簿に付け、その帳簿に基づいて正確に所得や税額を申告すると、所得や税額の計算などで、いろいろ有利な取扱いを受けることができます。

青色申告をすると、家族従業員（青色事業専従者）に給与を支給した場合には、その金額が必要経費に算入されます。また、青色申告控除として、十万円を所得から差引くことができますし、赤字のときには、その赤字額を三年間繰越すこともできます。その他、青色申告には、種々の特典があります。

まだ青色申告をなさっていない方で、確定申告のこの時期に青色申告を始められる方は、三月十五日までに「青色申告承認申請書」を税務署にお出しください。

納税相談日程表

（時間　9.00～15.00）

月日	対象地区（午前）	対象地区（午後）	会場
2・18		村山	畜産センター
19	上在	天神・上町	〃
20	旭通	昭和	〃
21	森・冬野	横町	〃
22	津留	下町	〃
25	社倉	草部	基幹集落センター
26	芹口	菅山	〃
27	永野原	下切	〃
3・3	矢津田	中	草北小学校
4	津留1	野尻1	林業センター
5	津留2	野尻2	〃
6	尾下1	尾下2	〃
7	河原1	河原2	河原地区公民館
10	洗川 前原	大村 中原	農協上色見支所
11	戸狩 中園 西丁	小倉原 井上 山鳥	農協色見支所
12 13 14	上記日程に申告できなかった人		基幹集落センター 林業センター 畜産センター

▷贈与税関係　2月19日（9.00～15.00）
▷確定申告説明会　2月21日（　〃　）
▷所得税関係　2月28日～29日（　〃　）

固定資産課税台帳 3月20日まで 無料縦覧できます

五十五年度固定資産税の納付書発行を間近に控え、税務課固定資産評価係では、不動産の所有者に対し、自分の資産に間違いがないかよく確めてもらおうと、三月一日から二十日まで、本庁と出張において課税台帳の無料縦覧を行います。

係では、家屋の場合は新築、増築などの現地調査、そのほかは原則として法務局（登記所）からの登記済通知書によって台帳整理を行っております。

中にはすでに滅失した家屋がそのままになっている場合があるかも知れません。納付書を発行したあとで、いろいろと苦情を持ち込む例を見受けますが、ぜひこの無料縦覧期間中に、台帳記載の確認をすませるようにしましょう。

なお、係では昨年から土地課税台帳（土地台帳）を整備中で法務局（登記所）との照合事務を進めています。すでに高森、色見、尾下、河原の各地区は完了していますので、その地区に土地を所有される方は、特に縦覧をおすすめします。

喜びの新成人たち

晴着姿も華やかに 成人式に144人が出席

大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ます成人式を、町では一月十五日午前十時から斎産センターで開きました。ことし成人式を迎えたのは百八十五人（男八十七人、女九十八人）。大半が町内で生活していますが、帰省中の若者たちもそろい、華やかな振りそで姿やスーツで装った百四十四人が出席しました。

宣誓をする後藤保幸君

今村教育長の開会のことばについで、岩下町長が「次代を背負う新成人の今後の活躍に、深い信頼と期待を寄せています」とあいさつ。続いて来賓の今村県議、甲斐町議長、住吉町選管委員長がお祝いの言葉を述べました。

このあと町から新成人一人ひとりに成人者手帳と記念品のアルバムを贈り、これを受けて、新成人を代表して上色見の後藤保幸君（農業）が「私たちは、今日のこの感激と希望を生涯忘れることなく、いかなる事態に直面しようと、それぞれの道で努力し、社会の発展に尽したい」と誓いのことばを述べました。

このあと、消費生活コンサルタントの佐藤寿子さんが、「新しいしあわせ」と題して講演、最後に全員で記念撮影し、若さあふれる式典を終わりました。

20歳のみなさん 国民年金に加入しよう

二十歳のみなさん、成人おめでとう。今日から、晴れておとなの仲間入り――あなたはいま、一人の社会人として新しいスタートを切ったのです。

選挙権を行使できるほか、財産上の取引も自分の意思でできるなど法律上、一人前のおとなとしての扱いを受けると同時に、国民年金にも加入できるようになります。

いま成人式を迎えたばかりのあなたにとって、老後の生活――年金などといっても、まだまだ遠い先の話と思われるかもしれませんが、人間だれも年をとります。老後の生活設計は、若いうちから考えておくのが賢明です。そのためにも、二十歳になったのを機会に国民年金に加入しましょう。

昼間部の学生さんや他の公的年金制度に加入しているサラリーマンなどの奥さんでも、希望すれば加入できます。

おたずねは町民課年金係へ――。

差別をなくして、明るい社会をつくろう

解放の力

部落差別の本質

「近代社会における部落差別」とは、ひとくちにいえば、市民的権利と自由が侵害されていることにほかなりません。

それでは、この市民的権利、自由とはどのようなものなのでしょうか。

それは、職業選択の自由、教育の機会均等を保障される権利、居住および移転の自由、結婚の自由などです。この中で特に重要なのは、「職業選択の自由、すなわち就職の機会均等」が同和地区住民に保障されていない一方で、差別をこばむ要因となっているわけです。

同じ星の下に生まれた「同じ人間」でありながら一方では、差別をすることによって自己満足し、一方では、差別に泣かされている人々がいます。このような現実をどう考えたらよいのでしょうか。

このことが、同和地区住民の「生活の安定と社会的地位の向上」をこばむ要因となっているわけです。

部落差別がある限り、「公平で正義に満ちた」明るい社会とは決していえませんし、「自由と平等」を目ざしてきた「人類の歴史」にも全く逆行することにもなります。

県民のすべてが同和問題を正しく認識し、自由で平等な差別のない明るい社会の実現に努力を積み重ねていただかねばなりません。